

免疫応答学 本試 (2017.04.28)

1.誤っているものを1つ選べ

- a.成人 Still 病では間歇熱や弛張熱になることが多い
- b.不明熱の原因として感染症、悪性疾患だけでなく膠原病、膠原病類似疾患を鑑別する必要がある
- c.発熱の原因が不明の場合、治療的診断のため早期にステロイドを投与して膠原病、膠原病類似疾患の有無を鑑別していく
- d.レイノー現象は寒冷刺激などに対する血管攣縮による皮膚の色調の変化で、典型的には蒼白、暗紫色、紅潮の順に変化する
- e.レイノー現象は強皮症、MCTD で高頻度にみられるが、SLE、多発性筋炎などでもみられる

2.疾患と抗体の組み合わせで正しいものを2つ選べ

- a.シェーグレン症候群—抗セントロメア抗体
- b.強皮症—抗トポイソメラーゼ抗体
- c.ベーチェット病—抗 RNP 抗体
- d.全身性エリテマトーデス—抗 Sm 抗体
- e.

3.間質性肺炎をきたす疾患を2つ選べ

- a.シェーグレン症候群
- b.強皮症
- c.ベーチェット病
- d.関節リウマチ
- e.リウマチ性多発筋痛症

4.ステロイドの副作用としてみられるものを2つ選べ

- a.血清カリウム高値
- b.低血糖
- c.緑内障
- d.骨頭壊死
- e.花粉症

5.発症平均年齢が高いものを2つ選べ

- a.巨細胞性動脈炎
- b.高安動脈炎
- c.全身性エリテマトーデス
- d.リウマチ性多発筋痛症
- e.皮膚筋炎

6.疾患と症状の組み合わせで正しいものを2つ選べ

- a.全身性エリテマトーデス—結節性紅斑
- b.強皮症—陥凹性癬痕
- c.皮膚筋炎—舌小体萎縮
- d.シェーグレン症候群—ヘリオトロープ疹
- e.ベーチェット病—陰部潰瘍

7.強皮症

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.

8. 強皮症について誤っているものを1つ選べ

- a.旧基準に肺高血圧症は含まれていない
- b.両手指を越える近位の皮膚硬化があれば2013年から強皮症と診断できる
- c.
- d.抗セントロメア抗体、抗トポイソメラーゼ抗体、抗RNAポリメラーゼ抗体は疾患特異性が高い
- e.新しい分類のほうが感度、特異度ともに上回っている

9.全身性エリテマトーデスで見られないものを2つ選べ

- a.抗DNA抗体
- b.関節炎
- c.
- d.
- e.蝶形紅斑

10.全身性エリテマトーデスについて誤っているものを2つ選べ

- a.感染症や腎症が死因となる
- b.抗 Sm 抗体は疾患活動性と相関する
- c.
- d.腎症はV型が最も予後が悪い
- e.心病変は弁膜症の頻度が最も高い

11.MCTD で誤っているものを選べ

- a.ほぼ全例でレイノー現象がみられる
- b.
- c.抗 U1-RNP 抗体が陽性となる
- d.
- e.肺高血圧症は予後不良

12.

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.

13.好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)で正しいものを 2 つ選べ

- a.気管支喘息
- b.PR3-ANCA 陽性
- c.末梢血好酸球増加
- d.
- e.

14.皮膚筋炎で急速に進行する間質性肺炎があるときに可能性の高いものを 2 つ選べ

- a.筋症状に乏しい
- b.抗 Jo-1 抗体陽性
- c.悪性腫瘍の合併
- d.抗 MDA5 抗体陽性
- e.

15.高安病について正しいものを 1 つ選べ

- a.若年男性に多い

- b.大血管炎症候群と呼ばれるようになっている
- c.Chapel-Hill 分類で中血管炎に分類される
- d.診断は容易である
- e.ステロイドが著効する

16.関節リウマチについて正しいものを1つ選べ

- a.関節炎は左右非対称に大関節で発症することが多い
- b.抗 CCP 抗体は疾患活動性と相関する
- c.リウマチ結節は痛風患者に多い
- d.高力価のリウマトイド因子は関節破壊進行の度合いと相関する
- e.リウマトイド因子および抗 CCP 抗体が陰性化したら寛解と定義される

17.ベーチェット病で見られるものを2つ選べ

- a.無菌性髄膜炎
- b.
- c.乾燥性角網膜炎
- d.血栓性静脈炎
- e.虹彩炎

18.成人 Still 病で見られるものを2つ選べ

- a.咽頭痛
- b.肝脾腫
- c.白血球減少
- d.リウマトイド因子陽性
- e.下血

19.IgG4 関連疾患で見られないものを1つ選べ

- a.涙腺腫脹
- b.ネフローゼ症候群
- c.後腹膜線維症
- d.硬化性胆管炎
- e.下垂体炎

20.食物アレルギーへの対応として正しいものを1つ選べ

- a.胃洗浄
- b.

- c. エピネフリン投与
- d. 抗ヒスタミン薬投与
- e.

21. 次のうち正しいものを1つ選べ

- a. 円形脱毛症に対する局所免疫療法とはステロイドの局所注射である
- b. 全身性強皮症では膠原繊維に対する特異抗体が検出される
- c. 慢性 GVHD の皮膚症状は多彩で、強皮症様の皮膚硬化もある
- d. 尋常性白斑でメラノサイトは消失しない
- e. 円形脱毛症では毛包バルジ領域にリンパ球浸潤がみられる

22. 次のうち正しいものを2つ選べ

- a. フィブリノイド壊死は自己免疫疾患の病理組織形態としてみられることがある
- b. 関節リウマチでは初期より滑膜の絨毛化が引き起こされる
- c. 関節リウマチは罹患臓器のスペクトラムが狭く関節以外に障害をきたさない
- d. SLE による腎炎では必ずワイヤーループ像がみられる
- e. 橋本病では甲状腺組織にリンパ濾胞が形成されることがある

23. 後天性免疫不全症候群について正しいものを1つ選べ

- a. 強力抗ウイルス療法(HAART)は副作用が強く、治療継続可能者は50%程度である
- b. HAART によりウイルス量の抑制は得られるが、CD4 数の回復は困難である
- c. HAART は、ウイルス量の低下が得られても一生継続することを原則とする
- d. HAART により免疫能が回復すれば、潜在する各種感染症も自然治癒する
- e. HAART の副作用として、低コレステロール血症などの低栄養状態がある

24. 小児アレルギーについて正しいものを2つ選べ

- a. 食物アレルギーで年間50~60人が死亡する
- b. 皮膚の膨疹と掻痒があればエピネフリンの筋注が必須である
- c. 患者の5~20%は二峰性のアナフィラキシーを起こす
- d. アナフィラキシーショックの対応として下腿を挙上することがある
- e. ステロイドで色素沈着する

25. アレルギー性鼻炎について誤っているものを1つ選べ

- a. I型アレルギー疾患である
- b. くしゃみ鼻漏型ではヒスタミンの知覚神経への作用が大きい
- c. 遅発相反応では主に好酸球浸潤によって鼻閉が引き起こされる

- d. アレルゲン免疫療法を施行すると新たな抗原感作を予防することができる
- e. 鼻噴霧用ステロイド薬は初期療法薬として推奨されている

26. サルコイドーシスで見られないもの

- a. 皮疹
- b.
- c. ACE 低値
- d. ツベルクリン反応陽性
- e. 両側肺門リンパ節腫大

27. RS3PE 症候群で見られないものを 2 つ選べ

- a. 腱鞘滑膜炎
- b. 抗 CCP 抗体陽性
- c. リウマトイド因子陰性
- d. X 線で骨びらんがみられる
- e. 浮腫

28. 糸球体で半月体を形成するものを 2 つ選べ

- a. 巨細胞性動脈炎
- b.
- c.
- d. 顕微鏡的多発血管炎
- e. 抗糸球体基底膜抗体症候群

29. 65 才男性。筋力低下。AST ↑、ALT ↑、CPK ↑。考慮すべき合併症を 2 つ選べ。

- a. 甲状腺機能亢進症
- b. 胸腺腫
- c. 間質性肺炎
- d. 悪性腫瘍
- e. 急性膵炎

30. 34 才女性。ある疾患の治療中。発熱、血尿、肺胞出血。甲状腺腫大。可能性の高いものを 2 つ選べ

- a. MPO-ANCA 陽性
- b.
- c.

d.

e.抗甲状腺薬服用

記述：ACR の分類基準と比較して、新しい SLICC 基準の変更点・問題点など知るところを述べよ(それぞれの項目を列挙する必要はない)

関節液で好中球の浸潤

答え

1. c
2. b d
3. a d
4. c d
5. a d
6. b e
7. ?
8. e ?
9. c d
10. d e
11. (a、c、eは○)
12. ?
13. a c
14. a d
15. b
16. d ?
17. d e
18. a b ?
19. b
20. c
21. c
22. a d
23. c
24. c d
25. e
26. c d ?
27. b d ?
28. d e
29. c d
30. a e

※個人作成のため、再現率が悪いです。テスト問題が回収されるため、今後はみんなで協力して後輩のために再現率の高い過去問を作ってあげましょう。